

同窓会便り

発行
東北大学・電気・通信・電子・情報同窓会
仙台市荒巻字青葉
TEL 22-1800
発行責任者
緒方研二
(題字 緒方研二氏)

会長就任挨拶

緒方研二

今回にはからず、東北大学電気・通信・電子・情報同窓会の会長のご指名をいただき、この上もなく光栄の至りです。不肖私にとり、この重責を担うことには、誠に恐縮でございます。同窓会の会長は、卒業生としての責任が非常に重く、先ず、同窓会員の皆様から信頼され、支持されることが第一です。また、同窓会を代表して、同窓会員の皆様と連絡をとり、互いに助け合い、協力し、同窓会の発展に努めたいと思っております。今後、同窓会員の皆様からのご意見、ご要望を伺い、同窓会の発展に努めたいと思っております。今後、同窓会員の皆様からのご意見、ご要望を伺い、同窓会の発展に努めたいと思っております。

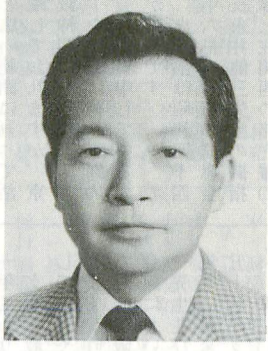
新会長に緒方研二氏



高野知彦 先生には、本同窓会の会長を約八年間お引受けいただき、誠にありがとうございました。緒方研二氏に、ご承継を願うに、誠に恐縮でございます。緒方研二氏は、本同窓会の会長を約八年間お引受けいただき、誠にありがとうございました。緒方研二氏は、本同窓会の会長を約八年間お引受けいただき、誠にありがとうございました。

柴田先生御逝去

松尾正之



電子工学教授柴田幸男先生は去る八月二十八日急性白血病のため急逝されました。本年一月に還暦を迎えられたばかりで、益々御活躍いただけたものと、私共は深く惜まれます。

柴田幸男先生を偲ぶ

小野昭一

昭和三十三年のことであつたと思うが、柴田先生が宇田研の助手から小池研の助手として移った。当時、小池研で博士課程の最終年次であった私は、云わば、研究室の小男のような立場で先生をお迎えしたわけであつた。

以来二十七年間、私はこの立場を保持して先生には散々迷惑をかけてしまった。真面目、几帳面、身だしなみよく、食通等々、何をしても私は正しく、反対であつた先生は、私にとって願つてもない。

先ず、上司であり、正に「何でも頼める人」であつた。柴田先生の教授時代、教授と助教の組合せは、柴田先生と私の間に性格や考え方が正反対の方が良い、等と、私は勝手に決め込んで満足していたが、先生にとって

は果してどうであつたか、さぞ不満足な助教授をかかえて困つておられたのではなからうかと反省させられる。四十五年に通研に移り柴田研を離れた後も、一方面的にお世話を受けてきたことについて、とても悔まれない。

先生の性格にもあつたものでは、等を「何とかにも三分の理」的な云い訳を考へて自分の慰めとする以外、今はどうしようもない。亡くなられた二週間程前に御見舞の入院時「最低半年間の入院ではもう満足な講義はできないな」とか、誰そ誰の将来について病院から電話したとか、話題は全て教育者としての心配事ばかりであつたし、又、最後の治

療を受けられていた無菌室内の温度管理について、毎日データを採つておられたことも、後で奥様から伺つた。柴田先生は親しみ易い、立派過ぎる人であつた。一度位は酒の後の介抱でも思つても、受けるのは私の方に決つてたろうし。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

白血球が多いという点で、八月九日精密検査のため医学部附属病院に入院されました。入院直前私の部屋に見えられ、歯が悪いようなら、歯科部の先生を紹介してほしいといつてくれました。

その時初めて先生が御病気のことをうかがひ、くれぐれもお体を大切にされるよう申し上げて別れました。これが先生にお目にかかる最後になるうとは、夢にも思いませんでした。

告別式は八月三十日松音寺(市内新寺四丁目)において、多数の参列者のもと、しめやかに取り行われました。先生は大正十四年一月静岡県にお生まれになり、浜松高等工業学校を経て昭和二十六年東北大学工学部通信工学科を卒業され、大学特別研究生を経て昭和二十九年通信工学科助手、昭和三十三年電子工学科助教、ついで昭和四十年教授に昇

任、故小池勇二先生の後を継ぎ電子工学科真空電子工学講座を担当され、以来一貫して電気系の教育研究に献身してこられました。この間文部省学術審議会や科学技術庁宇宙開発委員会などの専門委員、また日本学術振興会の各種委員会委員、あるいは学内国際交流委員会専門委員、副委員長など多岐にわたる学内外の多くの委員会において御活躍になりました。

先生の御研究もまた多岐にわたる。数々の重要な研究成果を挙げた。初期の研究所のマイクログラフの研究に始まり、金属薄膜中の電子ビームの散乱透

過、気体プラズマ中の波動伝播、トンネルカソードなどへと発展し、更に化合物半導体関係、デバイス、バイスの研究へと意欲的に研究分野を拡げられ、その成果に多くを期待を集めておられました。特に最近ではセンサの研究の重要性を認識され、文部省総合研究、電気学会調査専門委員会を主催するなどして我々センサ研究の第一線の指導者として御活躍中でありました。

先生は大変身嗜みのよい方で、また静岡御出身のせいにか茶の味についてはお詳しく、折にふれいろいろお茶の話をしてうかがつたことが懐かしう思い出されます。今でも何時ものようにニコニコしながら私の部屋にぶらりと入つておられるような気がしてなりません。

電気系の総務課長としてのまたとない相談相手の先生を失なつたことの悲しみが一日と深まる今日この頃です。柴田先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

先生は私事に関する功績と学術研究教育の貢献に対し、正四位に叙せられ勲三等旭日中綬章が贈られております。

超微細電子回路 実験施設が新設

昭和五十九年四月十一日に、通研内に超微細電子回路実験施設が新設されました。この実験施設は、電気通信研究所の育成技術及びその総合的評価並びに電子回路の超微細加工技術に関する研究開発を行うための施設として、超微細化エレクトロニクス技術の指導原理を確立し、もつて電気通信に関する研究の促進に資することを目的として、規程にうたつています。

この施設は結晶育成部、測定解析部、加工開発部の三部から構成されています。このうち、結晶育成部の前身は昭和四十五年、測定解析部の前身は昭和四十九年に設置されましたが、超微細化と高集積化を高めるために、急速に進展している各種の集積回路の重要性にかんがみ、新設されました。新設された超微細化エレクトロニクス実験施設は、約一、六四〇㎡、クリーンルーム面積約六〇〇㎡、超微細化と高集積化を高めるために、急速に進展している各種の集積回路の重要性にかんがみ、新設されました。

また、各研究部門から要請のある測定も受け付け、共通測定室としての役割を果たしてまいります。加工開発部では、新設されたクリーンルーム内の紫外光・電子注入装置、拡散・成膜・エッチング装置、組立・研磨装置、分析・評価・測定装置などを使用し、①極限超微細化超高速半導体集積回路 ②超高速光集積回路 ③超高速光集積回路

創立五十周年を迎えた 電気通信研究所

昭和六十一年九月七日、東北大学電気通信研究所の創立五十周年を記念して、多彩な記念行事が行なわれた。実行委員長をなさって頂いたこの経過を簡単に報告いたします。

●研究成果の展示

九月六日午後一時より翌日正午まで、通研一号館において、通研・電気系の全研究所の研究成果を展示した。参観者は八百名を越え、非常に好評であった。

●記念式典

九月七日午後一時三十分より、仙台ホテルにおいて記念式典を挙げて、出席者は約三百名、式次第は次の通りである。

●記念講演会

式典に続き午後二時三十分より、左記の二氏による記念講演が行なわれた。参観者は四百五十名であった。

●特別功労者の表彰

特別功労者の表彰として、松平正寿先生、永井健三先生、財団法人齋藤報恩会

●電気通信研究所の歴史

電気通信研究所の創立五十周年を記念して、多彩な記念行事が行なわれた。実行委員長をなさって頂いたこの経過を簡単に報告いたします。

●講演会終了後

講演会終了後、午後六時から同ホテルで祝賀会が行なわれた。来賓、先輩の諸先生および学内関係者約二百七十名が出席し、創立五十周年記念にふさわしい盛大な祝賀会となり、午後八時に解散した。諸先輩からの暖かい励ましの言葉をいただき、所員一同これからの一層の努力を心に誓つた次第である。

●お祝い

お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。

●お祝い

お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。

●お祝い

お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。お祝い申し上げます。

